

必ず毎年受けましょう! がん自己検診のお知らせ



当健康保険組合では、本年も皆様方の健康管理のお手伝いとして、ご家庭でご自分のご都合に合わせてできる自己採取式のがん検診(肺・大腸・子宮・前立腺)を下記の要領で実施いたします。

“がん”は早期発見がポイントです。自分の健康を自分で守るためにも、是非この機会にご受診ください。

無 料

有 料

(自己負担5,610円)

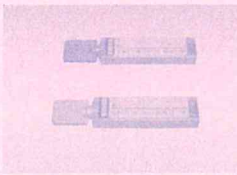
肺がん検診 (喀痰細胞診)

・3日分のたんをとります。



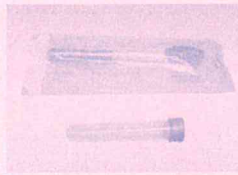
大腸がん検診 (便潜血検査)

・今注目のトランスフェリンを同時測定
・便を採りやすい採便シート付き



子宮頸がん検診 (細胞診)

・乳がん自己触診チェッカー付き



(注) 妊娠中の方は申込み
できません。

前立腺がん検診 (血液検査)

・血液中のPSA濃度を調べます。



*下の注意事項を
お読みください。

HPV検査セット

・1回の採取でHPV検査と
子宮頸がん検査(細胞診)ができます。



(注) 妊娠中の方は申込み
できません。

*前立腺がん検診の注意事項
・血液を、専用の器具を使って指先から採取します。
・特定の疾患の治療中で、薬剤(ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等)を服用し止血機能が低下している方は検査の申込みができません。

受診する方の個人情報は本検査を提供する目的及び当健康保険組合の疫病予防に利用させていただきます。重症化予防および今後の保険事業に役立たせていただくため、有所見の方は必ず精密検査を受診し、送付されるアンケートにてその後の経過を必ずご報告ください。

【記】

- ① 検診対象者 30歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上、前立腺がん検診は50歳以上)の被保険者及び被扶養者(健康保険証が発行されている方)
- ② 検診費用 全額健康保険組合が負担します。(肺・大腸・子宮・前立腺の4項目)
※ただし、HPV検査セットは、自己負担金5,610円が必要です。お申し込み後、検査機関より振込用紙が送付されますので、各自入金してください。入金確認後、器具が送付されます。
採取後の器具の返送切手代(肺がん:220円、大腸:92円、子宮頸がん:120円、前立腺120円、HPV検査セット:120円)はご負担ください。
- ③ 申込方法 右下申込書に記入のうえ、被保険者の勤務先の担当課(総務課など)へ提出してください。(任意継続・特例退職者の方は健康保険組合へ送付してください。)
- ④ 申込締切日 平成30年9月14日(金)できるだけ早めにお申込みください。
- ⑤ 器具の送付 申込書到着後、約2週間で個人宛に検査機関より郵送されます。
- ⑥ 採取器具の返送締切日 平成30年11月9日(金)問診票と採取後の器具を同封の封筒に入れて、できるだけ早く返送してください。
- ⑦ 検診結果 検査の結果は、約3週間で個人宛に検査機関より郵送されます。
- ⑧ 検査機関 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスビル内
メスブ細胞検査研究所 TEL (075) 231-2230

前立腺がん検診 急増しています! 50歳をすぎたら、年に1度は受けましょう!

血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合には、その81%を発見できる非常に有効な検査方法です。

◆ 前立腺がんはサイレントキラー!! 自覚症状がありません。

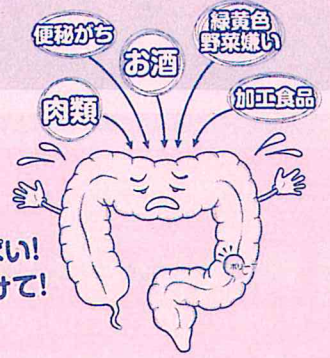
がんの初期には排尿障害(尿の勢いが弱い、尿の回数が増えた、残尿感があるなど)の症状はほとんど出ません。

※①前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方②特定薬物(抗男性ホルモン剤など)使用中の方③長年寝たきりになっている方は正確な検査結果が出ないことがあります。

大腸がん検診

重要!

2017年も予測がん罹患数：第1位！
もっとも身近な“がん”です。



リスクがいっぱい！
毎年検診を受けて！

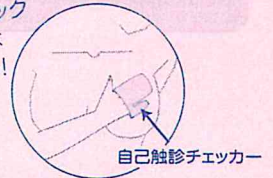
- ◆ 大腸がんは増え続けています！
がんの死亡原因：女性第1位！男性第3位！
この30年で罹患数（かかる人）は6倍！
- ◆ 早期発見・早期治療により、ほぼ100%完治できます！
毎年検診を受けると大腸がんでの死亡リスクが70%も少なくなります。
昨年陰性だった方も受診しましょう！

子宮頸がん検診

検診を定期的に受ければ予防できます。

子宮頸がんになるまでに通常数年から10年以上かかります。
定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、がんになる前の段階で発見し治療することが可能です。

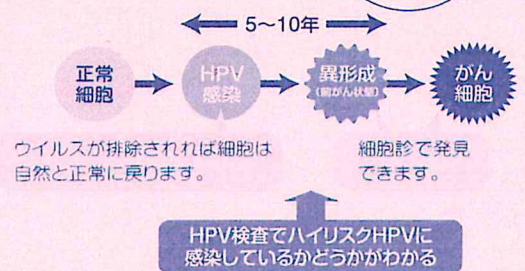
乳がん自己触診チェッカー付き！
毎月1回自分でチェック
違和感があった方は
検診を受けましょう！



HPV検査セット

女性にもっと安心を！

がんや前がん病変の段階の細胞がないかを調べる細胞診と、13種類のハイリスク型HPVへの感染を調べるHPV検査を同時に受けられます。
2つの検査を併用することで、前がん病変の発見率が飛躍的に向上します。



肺がん検診

中心型肺がんを早期に発見できます。

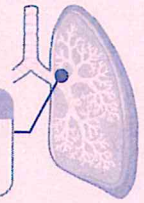
“PM2.5が
気になる方も”

- ◆ 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ◆ 喀痰細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。



- 〈こんな方は受診を！〉
- ・ たばこを吸う、又は、吸っていた
 - ・ 受動喫煙が気になる
 - ・ 大気汚染（PM2.5など）が気になる

肺門部・中心型肺がん
喫煙者に多い…せき、たん、血痰などの症状
※喀痰検査で発見！
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



キ...リ...ト...リ...線

平成30年 月 日

きんでん健康保険組合 御中
がん検診申込書

申込締切日 平成30年9月14日(金)

被保険者	記号番号	—	氏名	
	所 属 (会社名)		(室・部・支店社)	

検診を受ける人	氏 名	住 所	電話番号	生年月日・年齢・性別	続柄	希望される検査に ○印してください。
	フリガナ	〒	☎() —	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族	肺・大腸 子宮・前立腺 HPVセット(自己負担あり)
	フリガナ	〒	☎() —	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族	肺・大腸 子宮・前立腺 HPVセット(自己負担あり)
	フリガナ	〒	☎() —	西暦 年 月 日 ()歳 男・女	本人・家族	肺・大腸 子宮・前立腺 HPVセット(自己負担あり)

- (注) 1. 被保険者記号・番号とは保険証に記載されている記号・番号です。 2. 本人・家族共一人で3つのがん検診を受けられます。
3. 受診できるのは、30歳以上（子宮頸がんは20歳以上、前立腺がんは50歳以上）の被保険者及び被扶養者（健康保険証が発行されている方）

申込みをされて器具を受け取りながら、検診を受けなかった時は、器具代を個人負担していただきますので必ず受診してください。
＜肺:1,458円、大腸:896円、子宮:1,382円（50歳以上は1,598円）、前立腺:1,026円、HPV検査セット:1,598円＞
また、申込みをされながら受診をされなかった時は、次年度より受付をお断りする場合がありますので、必ず受診してください。

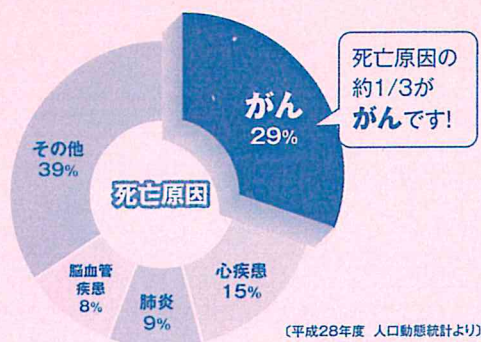
毎年必ず受けましょう!がん検診!

がんは予防できる時代です。

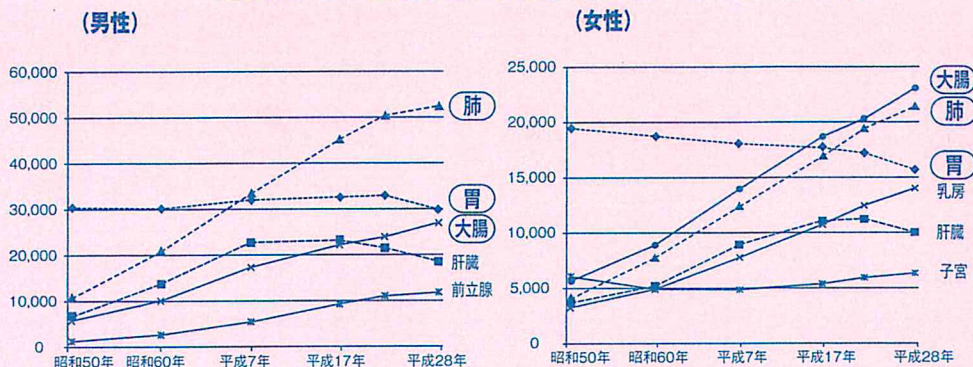
誰でもがんになる可能性があります!

一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、
早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

【主な疾病の死亡原因に占める割合】



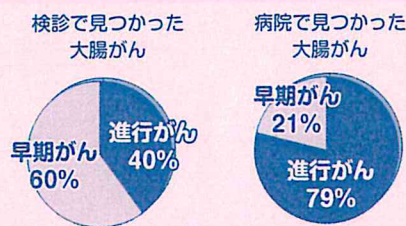
【主ながん部位別死亡者推移】 (平成28年度 人口動態統計より)



自覚症状がなくても、まず検診!

早期のがんに自覚症状はありません!
がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ
定期的に検診を受けることが大切です。

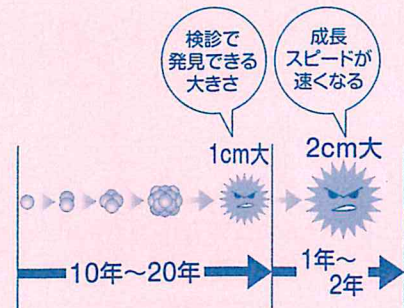
自覚症状を感じて病院で発見されたがんは
79%が進行がんです。



資料:厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」

毎年検診を受けることが重要です!

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。
検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが必要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう!

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。
がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫!と思わず、
すぐに精密検査を受けましょう。

大腸がんは増え続けています。毎年必ず検診を受けましょう!

◆大腸がんは最も罹患する人が多いがんです◆ (国立がん研究センター:2017年がん罹患数予測より)

大腸がんにかかる人が多いですが、どんなことに気をつけたらいいでしょうか?



食生活の欧米化、特に食物繊維不足などで腸内環境が悪化し、がんが発生すると言われています。

大腸がんの予防には、
「定期的な運動」「高脂肪食を控える」
「禁煙」「野菜果物を多く摂る」
「毎年検診を受ける」ことが大事です!

✉ 受診者様の声 (アンケートより)

実際に「陽性」の結果を受けて、精密検査を受けられた方からのメッセージです。

もっと早く受けていれば…

“早期の大腸がん”が見つかり切除しました。
大腸がんが増えていることはニュース等で聞いていたのもっと早く受けていれば良かったと思います。



子宮頸がん、早期の治療ができました。

円錐切除術で無事に腫瘍を取り除くことができました。将来妊娠を希望しており、早期で発見・治療ができて本当に良かったです。検査の大切さがよくわかりました。



何の自覚症状もなかったのに…

便潜血で1日しか陽性が出ていなかったにもかかわらず、ポリープが見つかりました。放っておくとがん化していくタイプだと言われました。受診して良かったです。



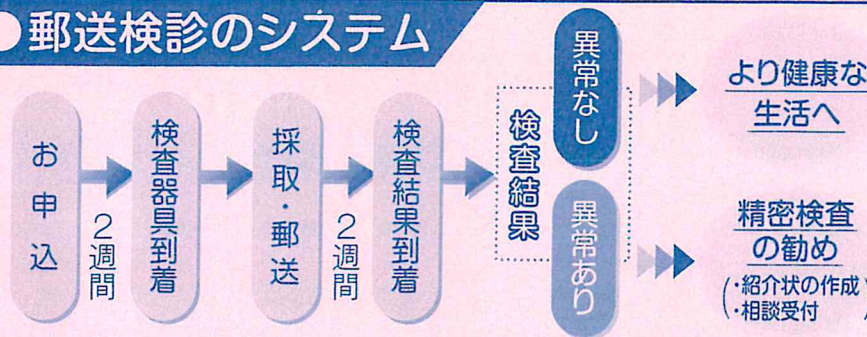
ポリープが見つかり命拾いました。

陽性の結果に半信半疑で内視鏡検査を受けたところ、まさかのポリープが見つかり驚きました。このまま放置していたら進行がんの可能性が高かったので本当に命拾いをしました。



[注意事項]
 ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
 ・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
 ・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

● 郵送検診のシステム



平成28年度 協力施設
 京都府医師会 臨床検査精度管理調査

メスス細胞検査研究所
 京都府登録衛生検査所第38号

〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る
 瓦町550 メススビル内

TEL.075(231)2230

FAX.075(211)7400
<http://www.msp-kyoto.co.jp>
 E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp